

2021年7月14日

イプソス 世界 28 か国オリンピック世論調査

五輪開催反対 57%、日本 78% 28 カ国世論調査

共同通信社 2021/07/14 12:44



© KYODONEWS 五輪マークのモニュメントの前をマスク姿で歩く人＝8 日午前、東京都中央区

大手調査会社イプソスは 13 日、28 カ国で実施した東京五輪に関する世論調査の結果を発表し、57%が開催に反対していると明らかにした。反対が最も高かったのは韓国の 86%、次いで日本の 78%だった。一方、全体の 62%がパンデミック（世界的大流行）を受けた世界が一つになる重要な機会と捉えた。

五輪への興味が高かった上位 3 カ国はインド（70%）、南アフリカ（59%）、中国（57%）で、ベルギー（28%）、韓国（30%）、日本（32%）が下位 3 カ国だった。競技別ではサッカーが 30%で最も高く、陸上は 27%と続いた。



© KYODONEWS 東京五輪開催に関する 28 カ国での世論調査



イプソス株式会社 2021年07月14日 09:30

東京オリンピックへの関心は国によって様々だが、オリンピックの持つ団結力は評価。最も人気がある種目はサッカー、陸上～イプソス世界 28 カ国調査

2021年7月13日ーグローバル市場調査会社のイプソスでは、延期されていた2020年東京夏季オリンピックが2021年7月23日に開幕するのを前に、世界28カ国で世論調査を実施しました。開催すべきか？個人的にはどの程度関心があるのか？大会が社会に与える影響は？などについて意見を伺い、レポートをまとめました。その一部をご紹介します。

<主な調査結果>

■ オリンピックを開催すべきかどうか：この点については、新型コロナウイルスの影響が続いていることもあり、人々の意見が分かれています。世界の調査対象 28 カ国の平均では、オリンピックを「開催すべき」だと思ふ人は 43%、「開催すべきでない」と思ふ人は 57%でした。開催国である日本では、開催への支持が著しく低い（「開催すべき」22%、「開催すべきでない」78%）結果となりました。

■ オリンピックの持つ団結力：平均して 62%が「オリンピックは世界が一つになる重要な機会である」と回答しています。また 65%が「オリンピックは自国を一つにする」と回答しています。

■ オリンピックへの関心度は国によって異なる：インド、南アフリカ、中国は関心が高く、ベルギー、韓国、日本は関心が低いという結果です。

■ オリンピック競技の中で最も人気があるのは「サッカー」：注目度の高さでは、陸上は 2 位、3 位が水泳、4 位が体操となっています。

■ 刺激と参加：世界では 10 人中 8 人が「オリンピックは若い世代にスポーツへの参加を促すものだ」と答えています。

2020 東京オリンピックへの支持

2021 年夏に開催されるオリンピックへの支持は、新型コロナウイルスへの懸念もあって、全体的に低調です。調査対象となった 28 カ国の平均では、「開催すべき」と答えた人は 43%、「開催すべきでない」と答えた人は 57%でした。

オリンピックが予定通りに開催されることを最も支持しているのは、トルコ（71%）、サウジアラビア（66%）、ロシア（61%）、ポーランド（60%）です。しかし、開催国である日本では「開催すべき」が 22%、「開催すべきでない」が 78%で、開催への支持は著しく低くなっています。

Q: 新型コロナウイルスによるパンデミックが終わっていなくても、2021 年にはオリンピックを開催すべきだ



オリンピックの持つ団結力

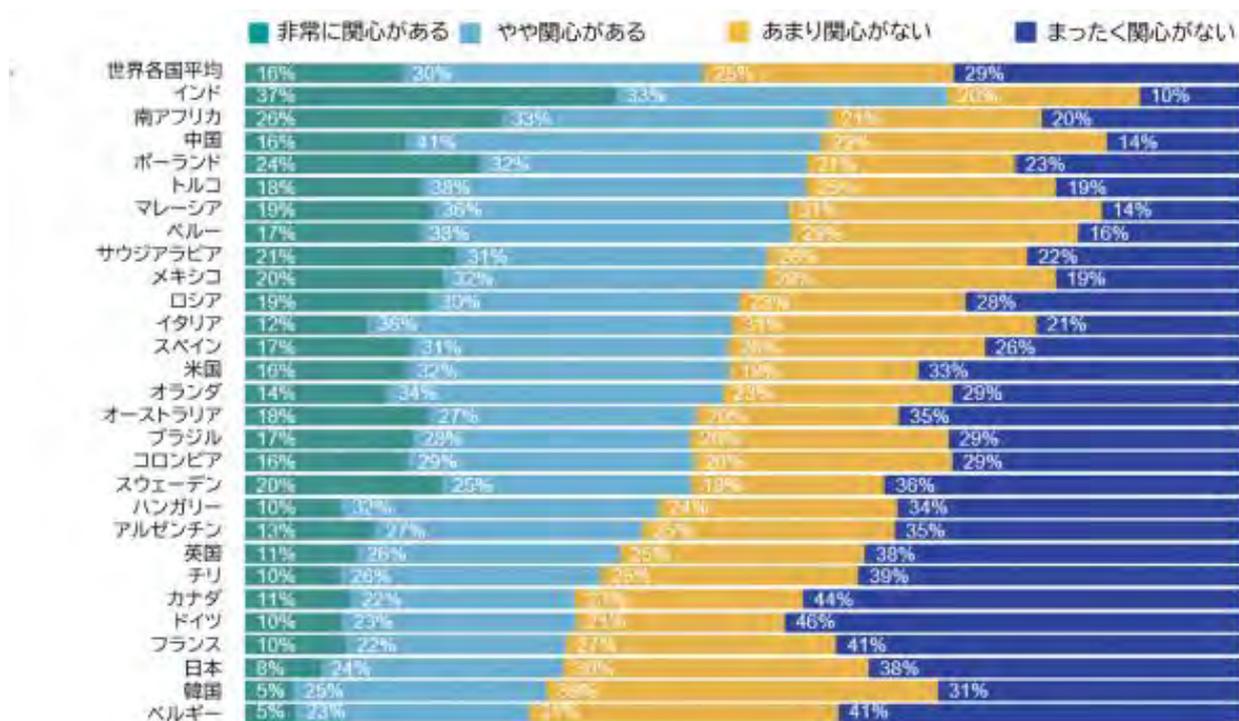
しかし、世界の調査対象者の62%は、オリンピックがパンデミック後に世界が一つになるための重要な機会になると考えています。トルコとサウジアラビア(いずれも81%)は、この意見に対しても、同意する割合が最も高い国となりました。一方、オリンピックは世界が一つになる機会を提供するという意見への同意が50%に満たない国は、韓国、日本、ドイツの3カ国のみです。

また、一般的に、オリンピックには団結力があるという意見が、人々の間で広く共有されていることがわかりました。65%は、オリンピックは「国を団結させる」という意見に同意しており、中国では92%、インドでは84%にも上ります。しかし、日本では36%、ドイツでは37%にとどまっています。

オリンピックへの関心度—全体

調査対象28カ国のうち13カ国の過半数がオリンピックに「非常に興味がある」「やや興味がある」と回答している一方で、15カ国の過半数が「あまり興味がない」「まったく興味がない」と回答しており、複雑な状況となっています。

Q：東京で開催される2021年夏季オリンピックにどの程度関心がありますか？



インド、南アフリカ、中国は最も関心が高く、ベルギー、韓国、日本では関心が低くなっています。



オリンピックへの関心度—競技種目

オリンピックの各競技を見てみると、サッカー、陸上、水泳（競泳、飛込、アーティスティックスイミング、水球）、体操の順に興味を持つ人が多いことがわかります。

Q: オリンピック競技種目のリストの中で、今年最も注目しているものを3つあげてください。

上位を占めた種目（世界各国平均）

1. サッカー（30%）
2. 陸上（27%）
3. 水泳*（22%）
4. 体操（21%）

*競泳、飛込、アーティスティックスイミング、水球

トップ10には、バレーボール、テニス、バスケットボール、サイクリング、ボクシング、バドミントンが入っています。

上位4つのスポーツについて、最も関心が高い5つの国（21種目のリストから上位3つに入る割合）：

サッカー



陸上



体操



水泳



オリンピックが社会に与える影響

今回の調査では、広い意味でのオリンピックをどう思うかを聞いてみました。注目の結果（世界各国平均）をいくつかご紹介します。

- 80%が、オリンピックは若い世代にスポーツへの参加を促すものだと回答している
- 67%が、自国のオリンピック選手の活躍を支援するために政府が資金を提供することに賛成している

● 71%が、オリンピック選手に優先的に新型コロナウイルスのワクチン接種を行うべきだという意見に同意している。中国（92%）、サウジアラビア（89%）、インド（88%）、トルコ（87%）では同意率が高いが、ドイツ（50%）、イギリス（52%）、ベルギー（54%）、オランダ（56%）では低い。

詳細は、弊社ウェブサイトより「2020年東京オリンピックに関するグローバルレポート」をご覧ください。

<https://www.ipsos.com/ja-jp/2020-summer-olympics-perceptions>

<調査概要>

これは、イプソスが同社の Global Advisor オンラインプラットフォームで 28 市場を対象に実施した調査結果です。2021 年 5 月 21 日～6 月 4 日、米国、カナダ、マレーシア、南アフリカ、トルコでは 18-74 歳、その他の 23 市場では 16-74 歳の合計 19,510 人の成人を対象に調査を実施しました。サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国本土、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、スペイン、米国の各地域で約 1,000 人、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、韓国、スウェーデン、トルコの各地域で約 500 人となっています。

■ ■ ■ イプソスについて ■ ■ ■

1975 年創業。イプソスはリサーチのプロフェッショナルが経営する世界第 3 位のグローバル市場調査会社です。世界 90 カ国の拠点では、18,000 人以上のスタッフが、5,000 を越えるクライアントにサービスを提供しています。年間の実施インタビュー数は 4,700 万件以上に上ります。GreenBook Research Industry Trend Report 2020 で最もイノベイティブなリサーチ会社に選ばれました。

Ipsos in Japan ホームページ: <https://www.ipsos.com/ja-jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

イプソス株式会社 マーケティング&コミュニケーション担当

Email: japan.info@ipsos.com